

サステナビリティ

- サステナビリティ基本方針
- 株主・投資家への取り組み
- 環境への取り組み
- コンプライアンスへの取り組み
- ステークホルダーへの取り組み
- リスク管理



京急グループの
サステナビリティへの取り組み



統合報告書

サステナビリティ基本方針

京急グループは、グループ理念のもとで、「社会の持続的発展への貢献」と「京急グループの持続的発展」のよりよい循環を目指します。

- テーマ
- 人・社会・地球にやさしく持続可能な都市生活を創造します。
 - 多様な人財が活躍する企業を実現します。
 - 全ステークホルダーとの適切な協働を図り、コーポレートガバナンスの持続的な強化を図ります。

環境への取り組み

鉄道などの公共交通機関は、他の交通手段と比べて温室効果ガスの排出量が少なく環境にやさしいことから、京急グループではかねてより「ノルエコ（乗るだけでエコ）」として公共交通機関の利用促進・モーダルシフトを図ってきました。さらに、昨今の気候変動問題を認識し、サステナブルな社会の実現を目指して、長期環境目標「京急グループ2050年カーボンニュートラル」を掲げ、環境負荷の低減に努めています。またTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言への賛同を表明し、積極的な情報開示を進めています。

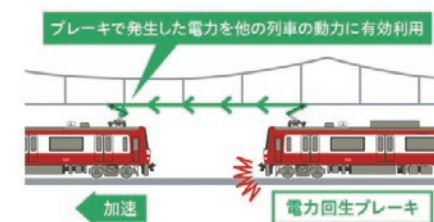


TCFD提言に基づく
情報開示



■環境にやさしい車両・設備の導入

京急電鉄は、電車の制動時に発生する電力を架線に戻し他の電車の動力源として有効活用できる「電力回生ブレーキ」を全車両に備えています。さらに、駅および車両照明設備のLED化や、駅のエレベーターやエスカレーターの更新時に省エネタイプの機器に切り替えるなど、積極的な省エネルギー施策の推進を図っています。また、京浜急行バスは、2019年に民間のバス会社として初めて走行時にCO₂などの環境負荷物質を一切排出しない燃料電池バス「SORA」を、川崎鶴見臨港バスは2020年3月から、(株)ユーグレナの「GREEN OIL JAPAN」宣言に賛同し、ユーグレナバイオディーゼル燃料を使用したバスを運行し、環境負荷の低減に努めています。



燃料電池バス「SORA」



バイオディーゼル燃料を使用したバス

■太陽光発電の導入

神奈川県補助金事業として、南太田駅と金沢文庫駅に薄膜太陽光設備を導入し、駅前街路灯や駅構内照明に充当しています。また、2022年1月18日から三崎観光が運営する油壺京急マリナーにおいても太陽光発電システムを導入し、オーナーさま向け各設備やマリナー運営に充当しています。



■再生可能エネルギー由来 実質CO₂排出量ゼロの電力を導入

長期環境目標「京急グループ 2050年カーボンニュートラル」の実現に向けて、再生可能エネルギー由来の実質CO₂排出量ゼロの電力を導入し、CO₂排出量の削減に努めています。

再生可能エネルギー由来の電力に置き換え

- ・空港線の運転用電力量（2021年8月1日～）
- ・京急線19駅^{※1}の業務用電力量^{※2}（2021年12月1日～）
- ・グループ12社が入居する京急グループ本社の電力（2021年12月1日～）

※1：京急本線京急東神奈川～金沢八景駅と逗子線の計19駅

※2：駅構内照明、空調、駅務機器、踏切、信号などが対象



■「小網代の森」の自然環境保全に協力

三浦市の「小網代の森」は自然のままの水系が残され、希少種を含む貴重な生態系が形成されている、地域のかげえのない財産です。京急電鉄は、神奈川県による「小網代近郊緑地特別保全地区」の指定に同意し、2005年から2009年にかけて、所有する約10haを自主保存するとともに、約2haを神奈川県に寄付しました。また、2014年には神奈川県へ一部整備した木道の寄付、2018年には常設トイレの設置にともなう敷地の貸与など、小網代の森の自然環境保全に協力しています。



|||| ステークホルダーへの取り組み

人々の生活に密着したさまざまな事業を行っている京急グループだからこそ、地域に根差した企業集団として、住民の皆さまや自治体と連携した地域貢献に努めています。

■沿線自治体や他企業との連携によるSDGs推進

2019年に神奈川県と「SDGs推進に係る連携と協力に関する協定」を締結。海洋プラスチック問題をはじめとする沿線地域のさまざまな課題の解決に取り組むとともに、2021年12月には協定項目の1つである「エネルギーの地産地消」への取り組みも開始しました。また、(株)ファンケルが開設する「ファンケル神奈川SDGs講座」や横浜市立東高校で開催された「横浜市立東高校Premium Program」に参加し、沿線地域の将来を担う次世代に向けて、SDGs達成につながる京急グループの取り組みについて講演しました。



「ファンケル神奈川SDGs講座」の様子

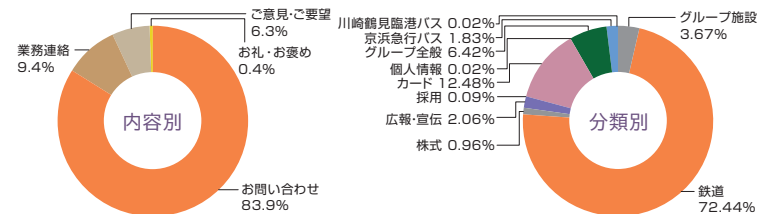
■京急ご案内センター

京急電鉄では、京急グループをより身近に感じていただけるよう、京急線の時刻や運賃、忘れ物のご案内はもちろん、京急グループのサービスや施設に関するお問い合わせ、ご意見・ご要望にお応えするため「京急ご案内センター」を開設しています。

2021年度にお客さまからの声を参考に京急電鉄が取り組んだ事例

- ・駅構内（階段や通路）の通行区分をステッカーにより明確化（北品川駅・井土ヶ谷駅など）
- ・全駅フリー乗車券「京急全線1日フリーパス」の発売
- ・おトクなきつぱ（よこすか満喫きつぱ・葉山女子旅きつぱ）のデジタル化によるクレジット決済の実現

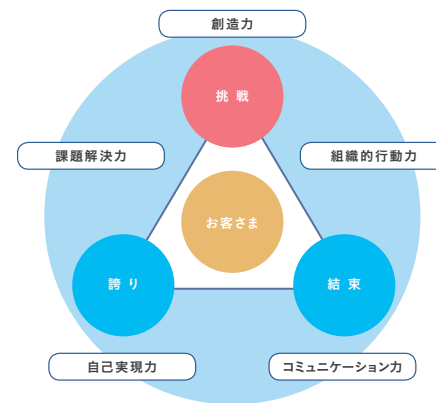
お客さまの声（2021年度）【総受付件数：76,144件】



■京急ism（イズム）

「京急ism」は、京急グループが培ってきた強みを正しく認識しつつ、さらなる発展に向けて、すべての従業員が理解し、共有すべき価値観であり、挑み続けるべき目標として掲げられている人事ビジョンです。特に、中期経営計画期間においては、「急激な事業環境の変化」に早急に対応するため、「挑戦」を重点キーワードとして、徹底したお客さま志向のもと、グループ全体が一丸となり、新たな可能性に挑み、新しい価値を創造する人財集団を目指します。また、京急ismの実現に向け、「5つのチカラ」をグループ共通の人財育成方針としています。

人財育成方針【5つのチカラ】



人事ビジョン【京急ism】

- 誇り** 一人一人がプロフェッショナルとして自律し、課題解決意識をもって業務に取り組む
- 結束** 目的・方向性を共有し、グループの連携力を最大限に活かして業務に取り組む
- 挑戦** 新たな可能性に挑戦し、お客さまに新しい価値を提供し続ける

|||| 株主・投資家への取り組み

京急グループでは、透明性の高い経営の実現に向けて、適時・適切な情報開示に努めるとともに、IR活動の強化に取り組んでいます。

■情報開示

京急グループでは、法令などに基づき、重要情報を適時・適切に開示しています。また、WEBサイトのIRページにおいて、月次営業成績のほか、決算短信、決算補足説明資料や有価証券報告書、統合報告書、株主総会や投資家向け会社説明会で用いた資料や動画を公開するなど、株主・投資家への情報開示に努めています。



京急グループWEBサイト「IRライブラリー」

■投資家向け会社説明会

京急グループの経営方針や成長戦略、株式や株主優待制度などを、より多くの皆さまにご理解いただき、投資の参考としていただくため、機関投資家・個人投資家向け会社説明会を定期的に開催しています。



機関投資家向け決算説明会(オンライン)



個人投資家向け会社説明会(オンライン)

■「Gomez IRサイトランキング2021」にて陸運業1位を獲得、「日興アイ・アールホームページ充実度ランキング」にて総合最優秀サイトとして表彰

IRサイトの使いやすさや情報の充実度を評価することを目的として実施され、投資家の視点に基づいて総合的に優れたIRサイトのランキングを決定する「Gomez IRサイトランキング2021」において、京急グループのウェブサイトが、陸運業1位、総合ランキング銀賞を獲得。サステナビリティ関連の開示情報充実などが評価されました。また、日興アイ・アール(株)の「ホームページ充実度ランキング」においても「総合 最優秀サイト」「業種別 優秀サイト」として表彰されました。今後もIRサイトをはじめとするコーポレートサイトをさらに充実させ、IR活動の強化に取り組んでいきます。



■株主向け施設見学会

株主の皆さまに京急グループの事業について理解を深めていただくため、定期的に株主向けの施設見学会を開催しています。2021年度は、「京急バスの車両について学ぼう!」を初のオンラインで開催し、京浜急行バスの担当者が、バスの洗車や点検の様子など、普段見られない裏側を動画とスライドで紹介しました。



株主イベントオンライン(京浜急行バス)

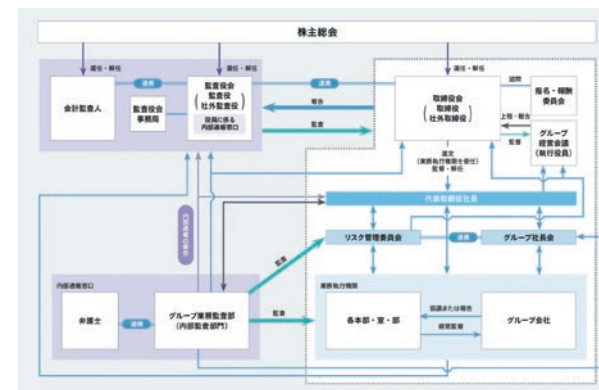
|||| コンプライアンスへの取り組み

京急グループは、グループ全体が協力して社会的責任を果たし、豊かな都市生活の基盤づくりを通じて社会に貢献できるよう、コーポレートガバナンス体制の強化およびコンプライアンス向上に注力しています。

■コーポレートガバナンスの基本的な考え方

京急グループは、ライフラインを担う企業集団として、すべての事業において安全の徹底を図るとともに、ステークホルダーと適切な協働を図り、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資するため、コーポレートガバナンスの持続的な強化に取り組めます。

■内部統制体制に係るコーポレートガバナンス体制図



■コンプライアンスに関する教育・研修

京急グループのすべての従業員が、コンプライアンスに対する理解を深め、正しく行動できるよう、新入社員から管理・監督職まで階層別に研修を実施しています。また、職場ごとに「コンプライアンス向上のための実行計画」を策定し、同計画に沿った取り組みを実施しています。さらに日々の業務を遂行するうえで、どのようなことに注意して行動すべきかをまとめた「京急グループ・コンプライアンスブック」の活用やさまざまなコンプライアンスに関する事例をとりあげた「京急グループ・コンプライアンス便り」を毎月配布し、コンプライアンス意識の向上を図っているほか、「京急グループ・コンプライアンス指針」や「京急グループ・役員および従業員行動基準」をカードサイズに印刷した「コンプライアンスカード」を、グループのすべての役員および従業員に携行させ、常にその趣旨を意識し、行動できるようにしています。

■個人情報保護方針(プライバシーポリシー)

京急グループは、個人情報保護に対する社会的要請に応えるべく、法令などを順守するとともに、個人情報保護に関する取り組み姿勢を明確にするため、プライバシーポリシーを定め、忠実に実行しています。

プライバシー
ポリシー



■内部通報制度(コンプライアンス窓口)

京急グループでは、所属会社や雇用形態を問わず、すべての役員および従業員などが利用できるコンプライアンス窓口を社内と社外に設置し、コンプライアンス違反に関する通報を受け付けています。また、「内部通報規程」を整備し、通報者の保護など公正かつ適正な窓口の運営を徹底しています。さらに、「コンプライアンスカード」に窓口の連絡先を記載するなど、グループのすべての従業員に周知し、窓口の実効性を確保することで、コンプライアンス違反情報を早期に察知し、違反を防ぐ体制を構築しています。

リスク管理

京急グループでは、自然災害、テロ攻撃などの緊急事態に際し、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、事業の継続および、早期復旧を可能とするため、リスク管理体制の強化に取り組んでいます。

■リスクマネジメントの基本的な考え方

京急グループにおけるリスク情報および危機情報を一元的に集約し管理することを目的としたリスク管理委員会を設置し、京急電鉄各部門およびグループ会社と連携してグループ全体の経営リスクの低減と未然防止のための活動および危機発生に備えた体制整備を行います。重要なリスクについては、取締役会に報告するとともに、グループ社長会にて情報の共有を図ることで、リスク管理の実効性を高めています。また京急電鉄のグループ業務監査部は、京急電鉄各部門およびグループ会社におけるリスク管理体制について適正性の監査を行っています。

■京急グループ合同防災訓練

毎年防災週間に大規模地震の発生を想定し、訓練を行っています。2021年度は「南海トラフ地震で被害が発生した」との想定で、BCP（事業継続計画）に基づき、京急グループ本社内に危機対策総本部を立ち上げ、従業員の安否確認、各事業部門の被害情報の集約、京急グループ会社への電車・バスの運行情報や主要施設の営業情報の伝達訓練などを行いました。



■京浜急行バス[安全・安心輸送に関する取り組み]

実車を使用した津波避難訓練の実施

バスの運行エリアである葉山町や鎌倉市で、津波警報が発令された場合を想定して、実車を使用した津波避難訓練を実施。車いすや高齢者の方など避難に助けが必要な乗客役を設定し、乗客に協力を呼びかけるなど、より迅速に避難できるような対応を行っています。



葉山町での津波避難訓練の様子

■京急電鉄

緊急時支援活動用ワッペン

京急電鉄社員が通勤時および私用などで京急線を利用中、事故や災害などの緊急事態に遭遇した際に、現場にてお客さまの避難誘導などの支援活動を行えるよう緊急時支援活動用ワッペンを全社員に配布しています。このワッペンは、各自が常に携帯しており、緊急時には胸元に貼り付け、支援活動を行います。



沿線のさらなる活性化を目指して

PR活動

沿線情報誌、WEBサイトやSNSなど、京急電鉄では、あらゆるメディアを活用して京急の認知度向上に努めています。

■沿線の旅客誘致

お客さまにとって身近で愛される存在であり続けるために「KEIKYU for YOU」のキャッチコピーのもと、俳優の黒島結菜さんをイメージキャラクターとして起用した、三浦半島の魅力を紹介するテレビCMと、くりいむしゅーの二人が登場する空港線の利便性訴求のテレビCMを放映しています。また、今後も三浦半島の活性化や沿線の旅客誘致に努め、選ばれる沿線となるように京急沿線の情報を積極的に発信していきます。



■沿線情報誌（フリーペーパー）の発行

京急線各駅（泉岳寺駅を除く）や沿線施設では、無料の沿線情報誌をお客さま向けに配布しています。2021年で創刊65周年を迎えた、京急のまちマガジン「なぎさ」では、沿線のバラエティ豊かなスポットを「まち・ひと・暮らし・文化」などの切り口から紹介。また、2022年度より年6回のうち3回を2021年度まで定期発行していた「MIULIKE（ミウライク）」のタイトルと要素を含んだ合併号とし、三浦半島の海をテーマに季節ごとの楽しみ方や生活、食などの情報を発信しています。



■京急電鉄マスコットキャラクター「けいきゅん」

2011年に羽田空港国際線ターミナル駅※開業1周年を記念し誕生した、京急電鉄マスコットキャラクターの「けいきゅん」。1000形電車のボディにつぶらな瞳の人気者です。京急沿線のびらり散歩や、こどもと遊ぶのが大好きで、京急の広報PR担当として沿線各地のイベントでの活動や、電車に設置されている車内ディスプレイや券売機でお客さまのご案内をしています。また、SNS（Twitter・Facebook・LINE）において、京急沿線をお散歩する様子や新サービスの情報発信などを通じて、沿線の魅力発信を積極的に行っています。

※現 羽田空港第3ターミナル駅



Twitter ID:@keikyunofficial URL:twitter.com/keikyunofficial
Facebook www.facebook.com/keikyunofficial
LINE@ LINEの友だち検索「@keikyun」を検索

■各地とお客さまとをつなぐフェアを開催

都心から羽田空港への主要アクセスを担う京急電鉄は、羽田空港とつながる各地へさらなる誘客を図るため、地元の方々と共に、京急あきたフェアや京急×沖縄フェアを開催しています。これにより各地域の魅力を発信し、京急線の利用促進を図っています。



京急あきたフェア2021で販売した「あきたecoらいた」



京急×沖縄フェア2021をPRした「京急×沖縄号」の車内

新規事業の創出

時代の変化に応じたビジネスモデルへの変革を目指し、「モビリティを軸とした豊かなライフスタイルの創出」をビジョンに掲げ、オープンイノベーションや、インキュベーションによる価値創造を図っています。

グループ内アイデア公募制度「ICHIRYU」の開設

クリエイティブな思考を醸成する京急グループ社員の自己啓発活動の一環としてアイデアを募集し、事業化を目指すグループ内アイデア公募制度「ICHIRYU（一粒）」を開設しました。2022年9月に予定している事業部審査に向けて、アイデア出しから仮説検証まで行い、新たな事業の種を模索しています。



京急アクセラレータープログラムの実施

オープンイノベーション施策の一環として、スタートアップとの事業共創を目指す「京急アクセラレータープログラム」を2017年から実施しています。これまで約400社の応募があり、22社のスタートアップと京急グループのさまざまなリソースを活用した連携を行ってきました。



成果や進捗を発表する「デモデイ」を開催

京急アクセラレータープログラム発の事業化に向けた取り組み

KEIKYU OPEN TOP BUS YOKOHAMA -NAKED XR TOUR-

アクセラレータープログラムで採択した（株）シナスタジアと共同し、2021年12月18日から2022年1月16日まで、週末の定期運行ツアーとして、VRやAR技術を活用して横浜の魅力を発信する「KEIKYU OPEN TOP BUS YOKOHAMA -NAKED XR TOUR-」を実施しました。



XR技術の体験イメージ

横須賀・三浦半島エリアにおけるヘリコプター遊覧飛行の実施

アクセラレータープログラムで採択した（株）AirXと共同し、2022年1月8日から16日まで、ヘリコプター遊覧飛行を実施しました。所要時間3～15分程度の4つのコースから選択でき、横須賀・三浦半島エリアの魅力を“空”から楽しめる商品として販売しました。



遊覧飛行イメージ

オープンイノベーション拠点「AND ON SHINAGAWA」を運営

スタートアップや大企業など、さまざまなプレイヤーの事業共創を加速し、新しい価値を継続的に生み出し続ける「イノベーション・エコシステム」の形成を目指し、コワーキングオフィスやイベントスペースの機能を持つオープンイノベーション拠点「AND ON SHINAGAWA（アンド オン シナガワ）」を品川駅高輪口エリアに開設しました。「デジタル時代のモビリティ×ライフスタイル」をテーマに、関連するスタートアップの集積、起業支援プログラム、関係者の交流イベントなどを定期的に開催しています。



「AND ON SHINAGAWA」ではワークショップやピッチイベントを開催